

参加費
無料

＜公開座談会＞
深谷灸法の魅力を語る
開催日時：平成22年9月19日（日）午後4時00分
開催場所：郡山商工会議所 大ホール

灸法臨床研究会 福島 哲也 先生

「望んでこれを知るを神医」という

灸術は艾という可燃物を用いて、体表に熱刺激を与え、または隔物透熱によって、体表に温熱刺激を与えて身体異和を調整する。したがって鍼術は経絡変動を調節する目的で発生し、発達したものであり、灸術は経穴違和を手がかりに刺激する目的で発生し、発達したものということができる。

鍼または灸両者の察病法、すなわち診断法にもおののの相異がある。

鍼術においては、主として脈診によって経絡の変動をうかがって、身体違和を察知し、また灸術においては、主として望診によって身体違和を察知する。もちろん、脈診も望診も両者ともに必要なものではあるが、主として行われるというところに相異がある。

—「名灸穴の研究」深谷伊三郎 著 より—



少数穴で効果を上げるのが特徴の深谷灸法とは

「鍼灸ジャーナル」や「あはきワールド」の連載で有名な灸法臨床研究会の福島哲也先生が、深谷灸法の魅力を語ります
公開座談会という形式で、広く市民への健康増進に寄与します

（左写真は「鍼灸ジャーナル・緑書房」より転載）